

日本水泳連盟「薬の相談窓口」集計報告(2023年)

2024年9月

日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

スポーツファーマシスト

2023年に日本水泳連盟ホームページ内の「薬の相談窓口」で受けた問い合わせ件数とその内訳を報告する。

2023年1月1日から12月31日までに「薬の相談窓口」に128件、241品目の問い合わせがあった。処方箋医薬品は201品目(83.4%)、市販薬は33品目(13.7%)、サプリメント・食品類は7品目(2.9%)であった(図1)。

全241品目のうち24品目(10.0%)に禁止物質が含まれていた。漢方やサプリメントなど、明らかな禁止物質は含まないが自己責任での服用(推奨せず)と回答したものは23品目(9.5%)であった(図2)。

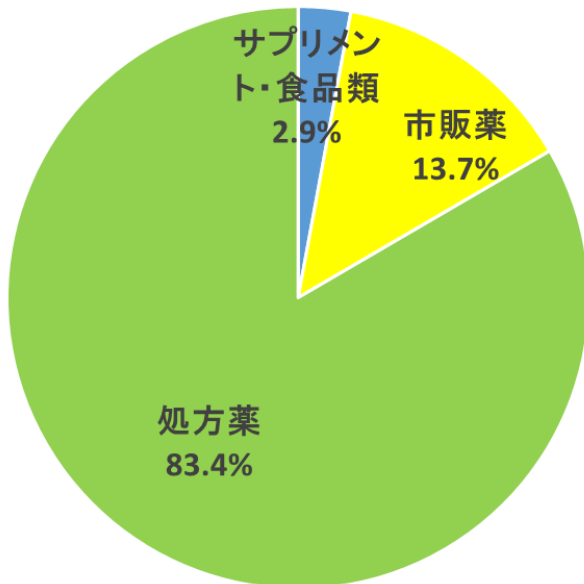


図1 問い合わせを受けた医薬品、サプリメント・食品類の割合

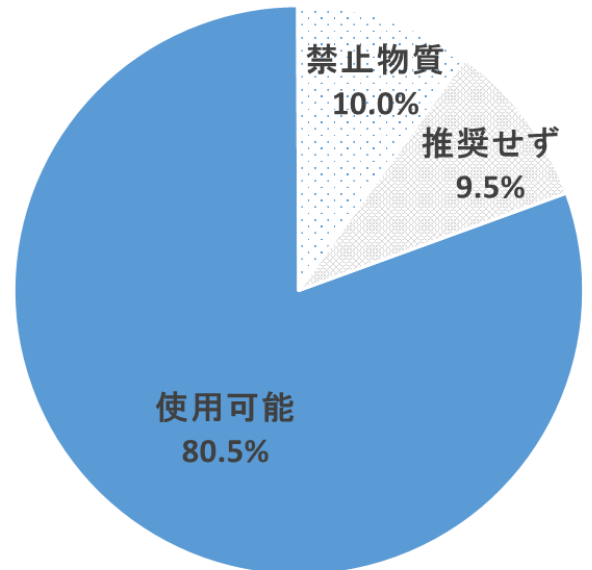


図2 使用可能、禁止物質、推奨せずの割合

なお、競技者カテゴリー別の問い合わせ件数は、カテゴリーAは29件(22.7%)、カテゴリーBは26件(20.3%)、カテゴリーCは73件(57.0%)であった。

競技者カテゴリーの分類は以下の通り。日本水泳連盟所属競技者<TUEガイド>より抜粋。

競技者カテゴリー	競技者の状況
A (国際レベル競技者)	World Aquaticsにより「国際レベル」と定義・分類された競技者 (World Aquaticsによる検査対象者登録リスト競技者(RTP/TP) ^(注1) 又は、World Aquatics指定の国際競技大会に出場する競技者)
B (国内レベル競技者)	JADAによる検査対象者登録リスト競技者(RTP/TP) ^(注2) 又は、 JADAが指定する「国内最高レベルの競技会」(日本選手権や国民体育大会)に出場する競技者
C (A/Bに該当しない競技者)	上記以外の日水連登録競技者(インカレ、インターハイ、全中、JOから各県B級大会なども含む) (正しい医療機関受診をした上で、通常のTUE申請は必要なし。検査を受けて陽性となった場合に適時的TUE申請をする。)